

カノゴヨウツツジ: 新品種

著者	米澤 信道
著者別表示	Yonezawa Nobumichi
雑誌名	植物地理・分類研究
巻	35
号	2
ページ	101
発行年	1987-12-25
URL	http://doi.org/10.24517/00056087

- seeds and seedling and their associated hairs I. 384 pp. GEC Gads Publish. House, Copenhagen.
- KURITA, M. 1977. Some notes on the *Rhododendron* plants from Japan III. Hairs on styles of two species. *Jour. Geobot.* 25: 13-17.
- 1984. Ditto XVIII. Divergent hairs in two species. *J. Phytogeog. & Taxon.* 32: 52-54.
- 1986. Ditto XXII. The leaf hairs in four species. *Hikobia* 9: 529-535.
- SEITHE, A. 1978. *Rhododendron* hairs and taxonomy. In: LUTEYN, J. L. & O'BRIEN, M. E. (Ed.): Contributions toward a classification of *Rhododendron*, 89-115. New York Botanical Garden, New York.

エゾツツジで3種類の毛: 単細胞毛, 多細胞普通毛および多細胞腺毛がみとめられた。

単細胞毛は表面に小さい疣状の突起をもつ。多細胞普通毛の基盤はあまり発達せず, 毛の本体の細胞は縦に細長くのびているが, 各個の区別はできる。この毛は扁平されていないが, まれに先端部のみが扁平されたものもあった。多細胞腺毛の柄はよく発達し, 多細胞普通毛と同じ形態をしており, 腺体は球形が普通である。

3種類の毛の所在が明らかにされたが, このうち多細胞腺毛は萼, 小包葉, 小花柄および花柄でみとめられ, これ以外の一年生苗条の部分では存在しなかった。この腺毛は花およびその附近でよく出現する傾向があるのであろう。

(Received December 25, 1986)

摘 要

○ カノコゴウツツジ—新品種—(米澤信道) Nobumichi YONEZAWA: A New Form of *Rhododendron quinquefolium*

比良山の山稜部には, ゴウツツジが多産するが, その一地点に本品種が数本まとまって生えている(産地の詳しい記述は, 保護のためひかえない)。

花冠には, 上部の内面にある緑色の斑点(範型にもある)とは別に, 全体に紅紫色の斑点があり, 華やかで美しいものである。「自然を探る会」の一行と比良山に登った際, 発見したものであり, 立命館高校の堀井篤先生をはじめ, 会の皆さんに, 深く感謝致します。

Rhododendron quinquefolium BISSET et MOORE form. *Speciosum* YONEZAWA, form. nov.

Corollae totaliter purpureo-maculatae.

Nom. Jap. Kanoko-goyo-tsutsuji nov.

Hab. Honshu: Pref. Shiga: Mt. Hira, alt. ca. 1020 m (N. YONEZAWA, May 24, 1987; Holotype in KANA no. 121504).

(Received June 22, 1987)



〒606 京都市左京区上高野大明神町 19-1, Daimyojin-cho 19-1, Kamitakano, Sakyo-ku, Kyoto-shi, Kyoto Prefecture 606

○ 林 弥栄監修 春の山野草と樹木 512 種・夏の山野草と樹木 550 種・秋の山野草と樹木 505 種 講談社, 昭和62年4月1日・7月1日・10月10日発行。25.5×20.5 cm, 各冊254頁。定価各冊2,200円。

監修者等は, 野外の観察会で, 似た植物相互の違いが何処にあるかと聞かれるが, それに対して答えたのが本書で, 身近な春・夏・秋の山野草と樹木計1,500種の他, 時に栽培種をも加えて, 写真で対比させるばかりでなく, 図とともに解説している。(里見信生)